



2023年3月期(第47期)
決算説明資料

証券コード:5217

 **徳油オйл株式会社**

1. 2023年3月期決算の概要
2. 2024年3月期業績予想

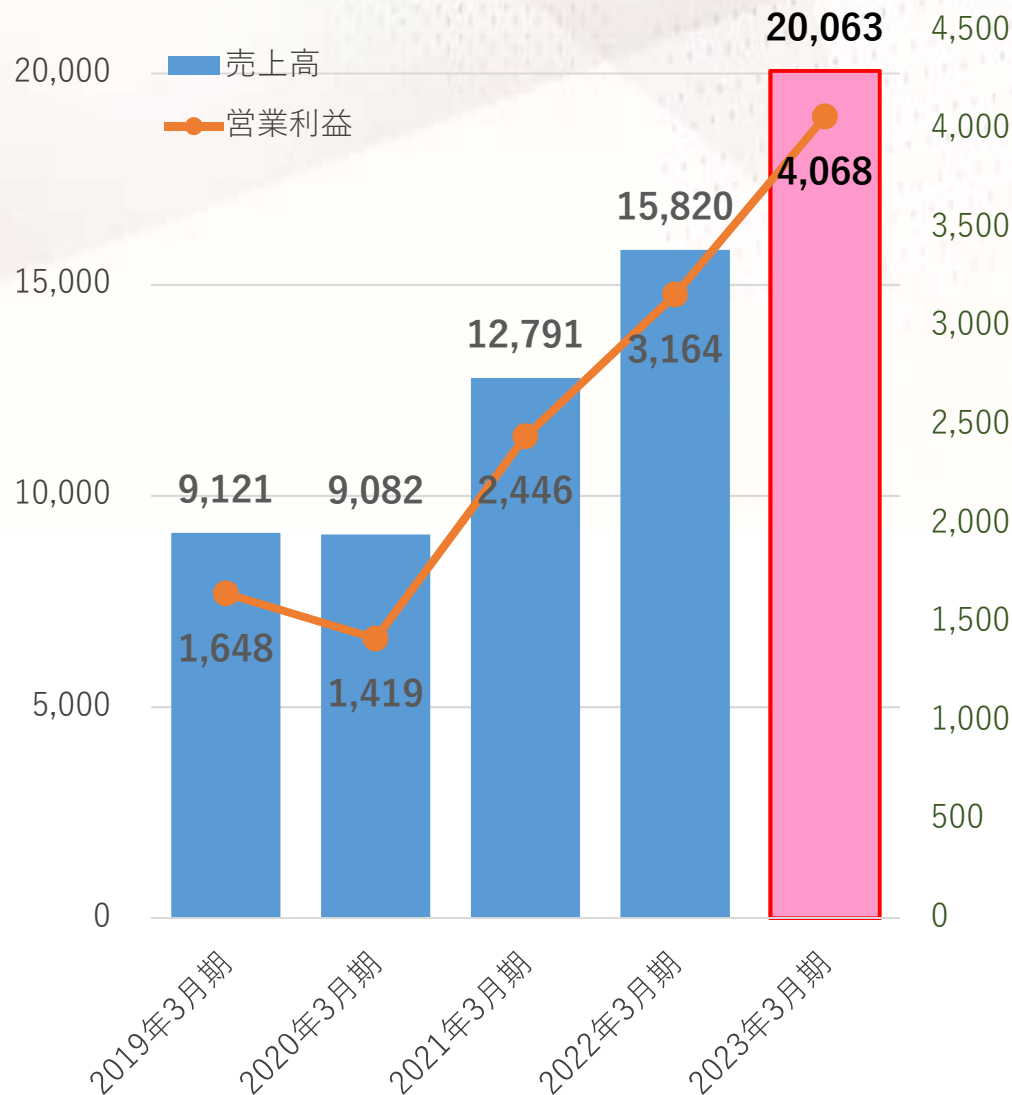
1. 2023年3月期決算の概要

- (1) 業績ハイライト（連結）
- (2) 経営成績（連結）
- (3) 経営成績（単体）
- (4) 連結 四半期実績推移（過去3期比較）
- (5) B S の状況／自己資本比率（連結）
- (6) 売上推移（連結）
- (7) 設備投資額・減価償却費（連結）
- (8) 製品別売上高（連結）
- (9) 海外売上比率の推移（連結）
- (10) 配当金の推移



▲蔵王工場

1-(1)業績ハイライト (連結) (単位：百万円)



営業利益率
20.3%

ROE
19.5%

売上高達成率
100.3%

※2022/10/31発表の売上高予測20,000百万円に対して
(2022/5/10発表時点では17,000百万円)

営業利益達成率
94.8%

※2022/10/31発表の営業利益予測4,290百万円に対して
(2022/5/10発表時点では3,220百万円)

1－(2) 経営成績（連結） 全ての項目において過去最高

(単位：百万円)

	2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)	
売上高	12,791	40.8%	15,820	23.7%	20,063	26.8%
営業利益	2,446	72.4%	3,164	29.4%	4,068	28.6%
経常利益	2,368	60.0%	3,231	36.4%	4,354	34.7%
純利益	1,606	61.8%	2,200	37.0%	2,957	34.4%

注) %表示 対前期増減率

1－(3) 経営成績（単体）

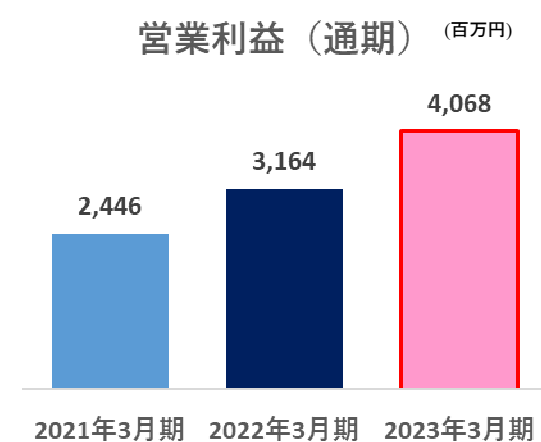
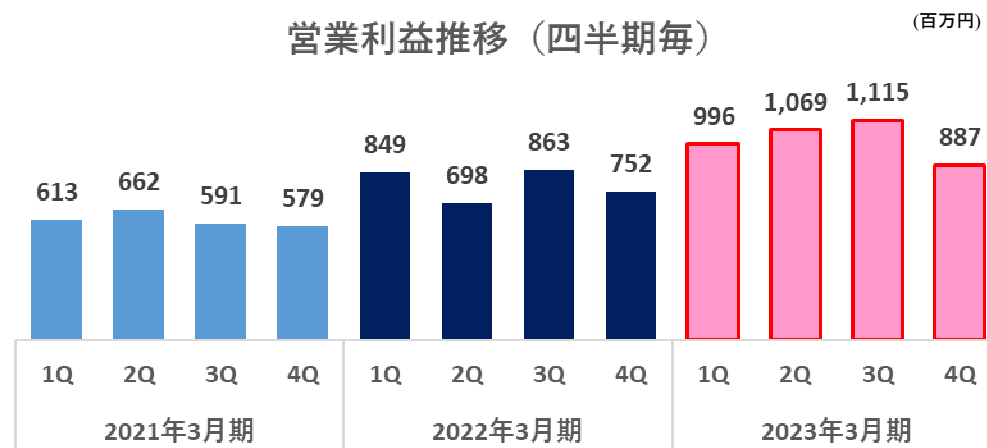
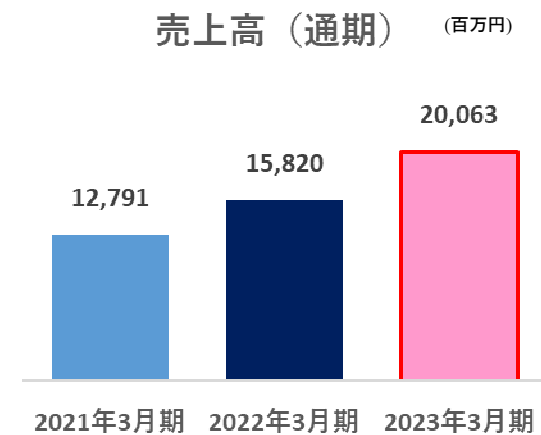
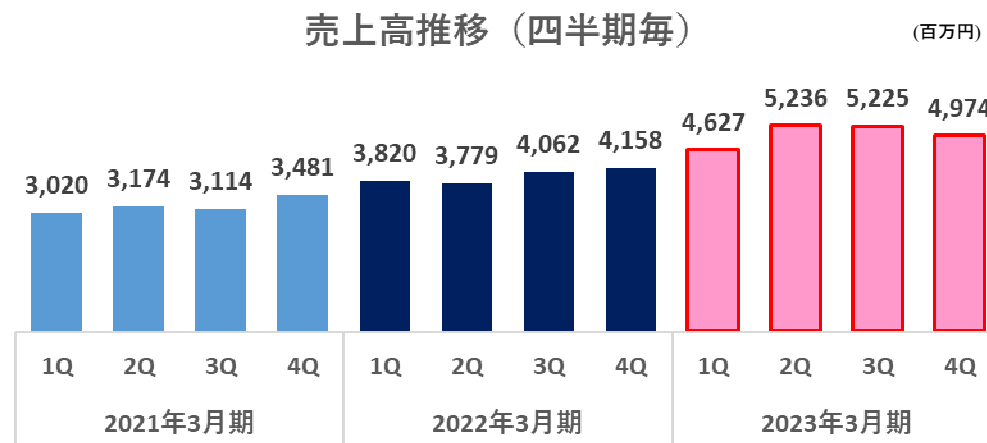
(単位：百万円)

	2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)	
売上高	11,441	38.0%	13,887	21.4%	16,933	21.9%
営業利益	1,613	55.3%	2,243	39.1%	2,886	28.7%
経常利益	1,714	9.3%	2,497	45.6%	3,199	28.1%
純利益	1,173	△1.9%	1,732	47.7%	2,230	28.8%

注) %表示 対前期増減率

1-(4) 連結 四半期実績推移 (過去3期比較)

- ・ 四半期別では、市場の急激な冷え込みにより2023年3月期の4Qは3Qからダウンした。
- ・ 通期では売上高、営業利益とも順調に推移した。

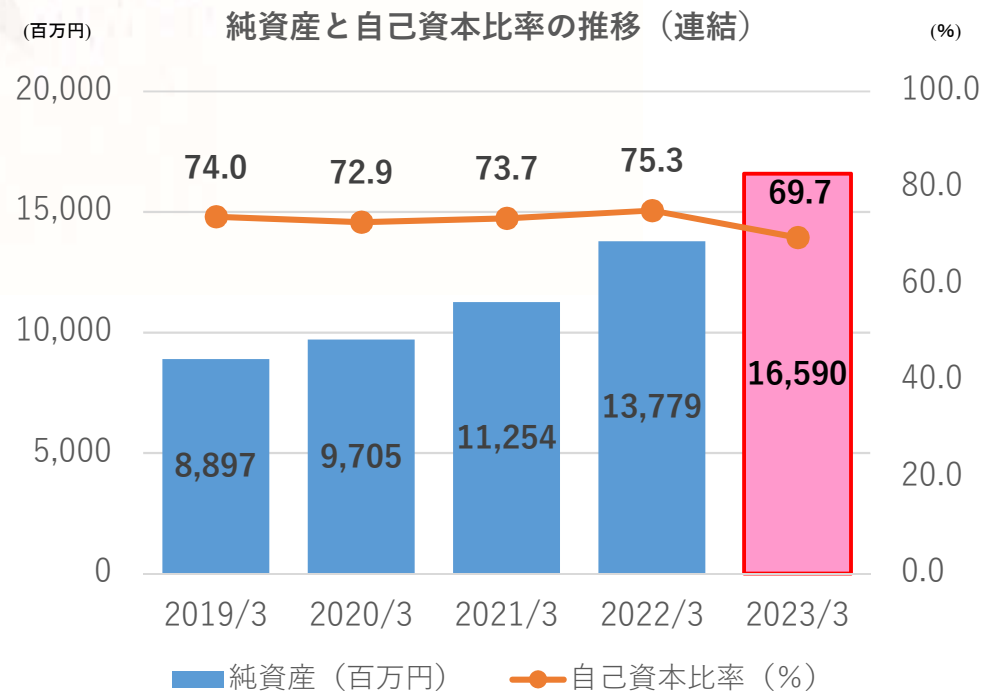


1-(5) B S の状況 / 自己資本比率 (連結)

- ・純資産額は165億9千万円。自己資本比率は69.7%と高水準を維持。
- ・不測の事態に備え、財務の健全性を維持していく方針。

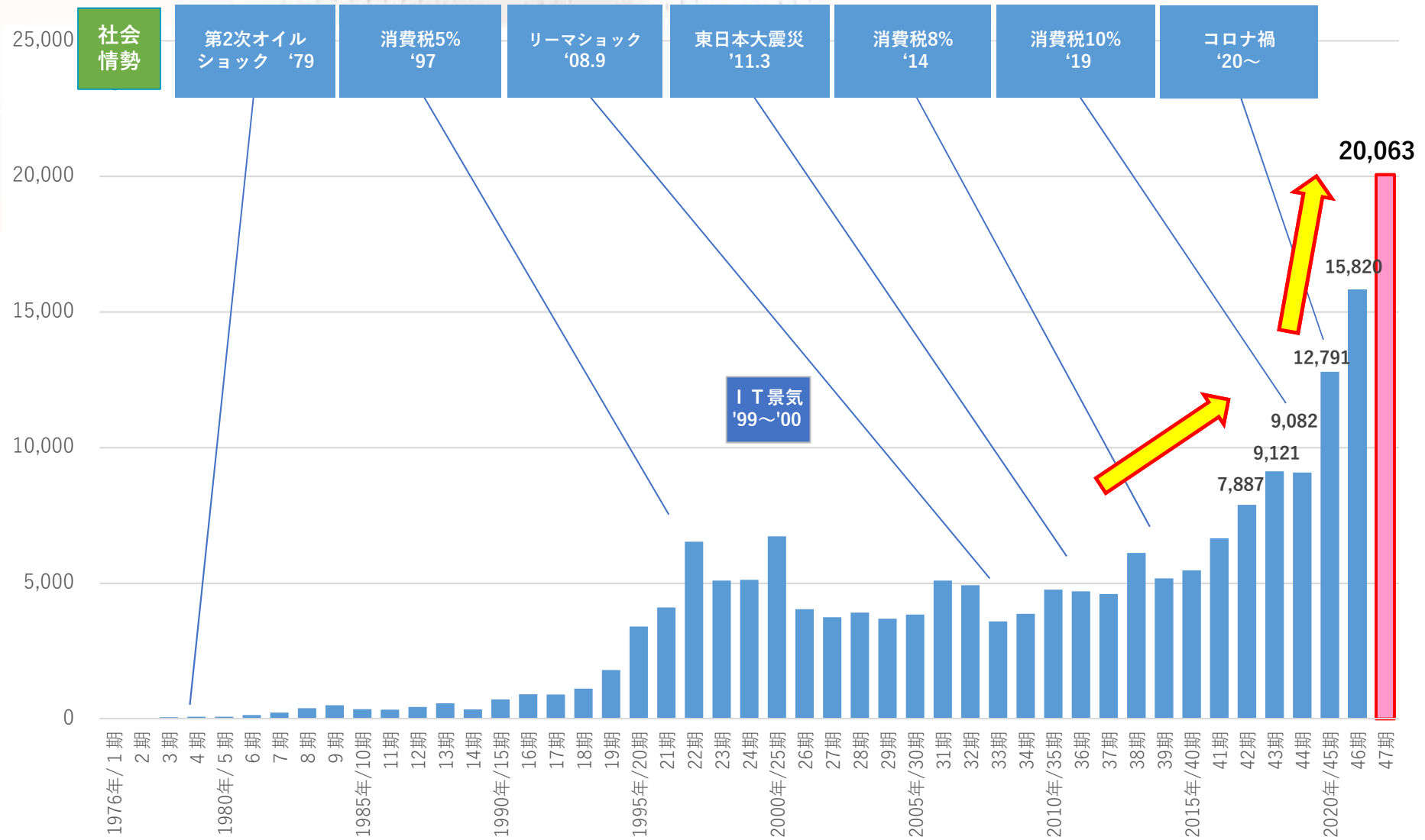
(単位：百万円)

	22年3月期	23年3月期	前期比増減
流動資産	10,783	14,346	3,562
〔現預金〕	2,999	3,446	447
固定資産	7,526	9,446	1,919
資産合計	18,310	23,792	5,482
流動負債	3,660	4,559	899
固定負債	871	2,643	1,772
負債合計	4,531	7,202	2,671
純資産	13,779	16,590	2,811
負債・純資産合計	18,310	23,792	5,482
自己資本比率 (%)	75.3	69.7	△5.6



1-(6) 売上推移 (連結)

(単位：百万円)



1-(7)設備投資額・減価償却費（連結）

（単位：百万円）

	2019年3月期 （第43期）	2020年3月期 （第44期）	2021年3月期 （第45期）	2022年3月期 （第46期）	2023年3月期 （第47期）
設備投資額	954	491	1,156	2,425	2,210
減価償却費	539	573	590	608	936

◆アイシンテック株式会社完全子会社化

当社グループの事業基盤の更なる充実を図るため、高純度石英ガラスをはじめ結晶シリコン、セラミックス、金属などの加工技術に定評のあるアイシンテック株式会社の全株式を取得し、完全子会社化を実施。

【株式取得日】2022年7月22日（金）

【取得株式数】300株（議決権所有割合 100.0%）



▲アイシンテック株式会社

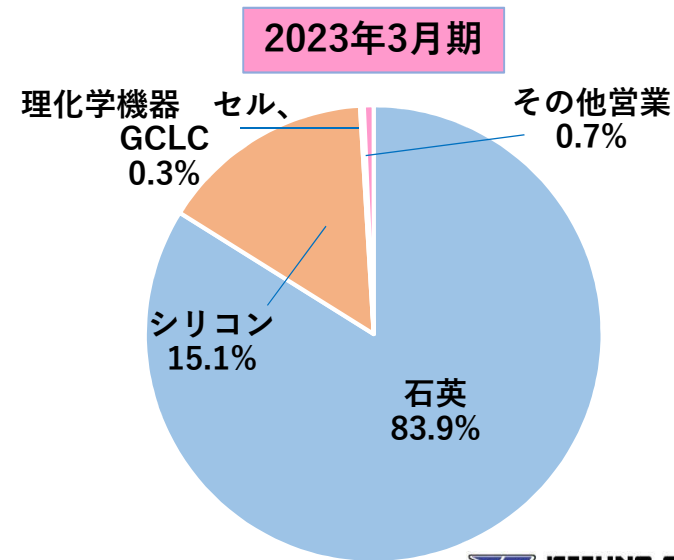
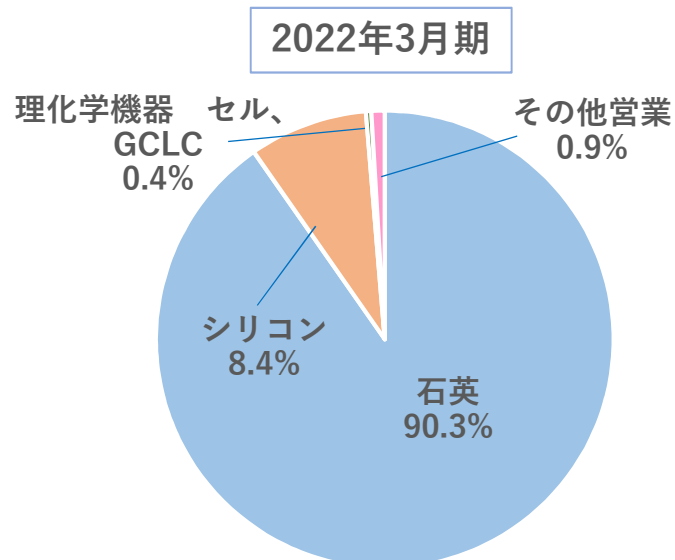


▲テクノクォーツ株式会社 取締役社長 園田育伸（左）
アイシンテック株式会社 取締役社長 富山真二（右）

1-(8)製品別売上高(連結)

(単位:百万円)

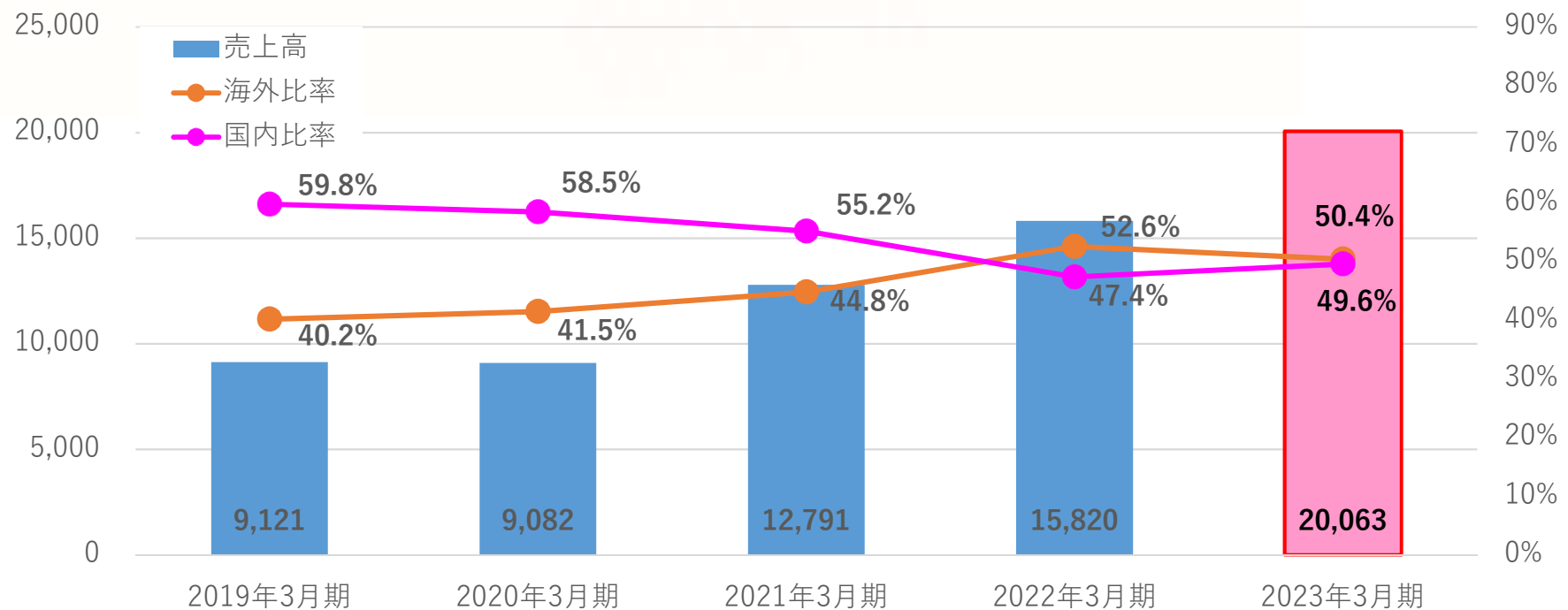
主要製品	2022年3月期 (第46期)			2023年3月期 (第47期)		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	14,285	90.3%	127.1%	16,833	83.9%	117.8%
シリコン	1,327	8.4%	96.1%	3,038	15.1%	228.9%
理化学機器セル、 GCLC	59	0.4%	110.6%	54	0.3%	92.1%
その他営業	149	0.9%	127.8%	138	0.7%	92.4%
総計	15,820	100.0%	123.7%	20,063	100.0%	126.8%



1-(9)海外売上比率の推移(連結)

(単位：百万円)

区分	2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	5,453	59.8%	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%
国外	3,668	40.2%	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%
合計	9,121	100.0%	9,082	100.0%	12,791	100.0%	15,820	100.0%	20,063	100.0%

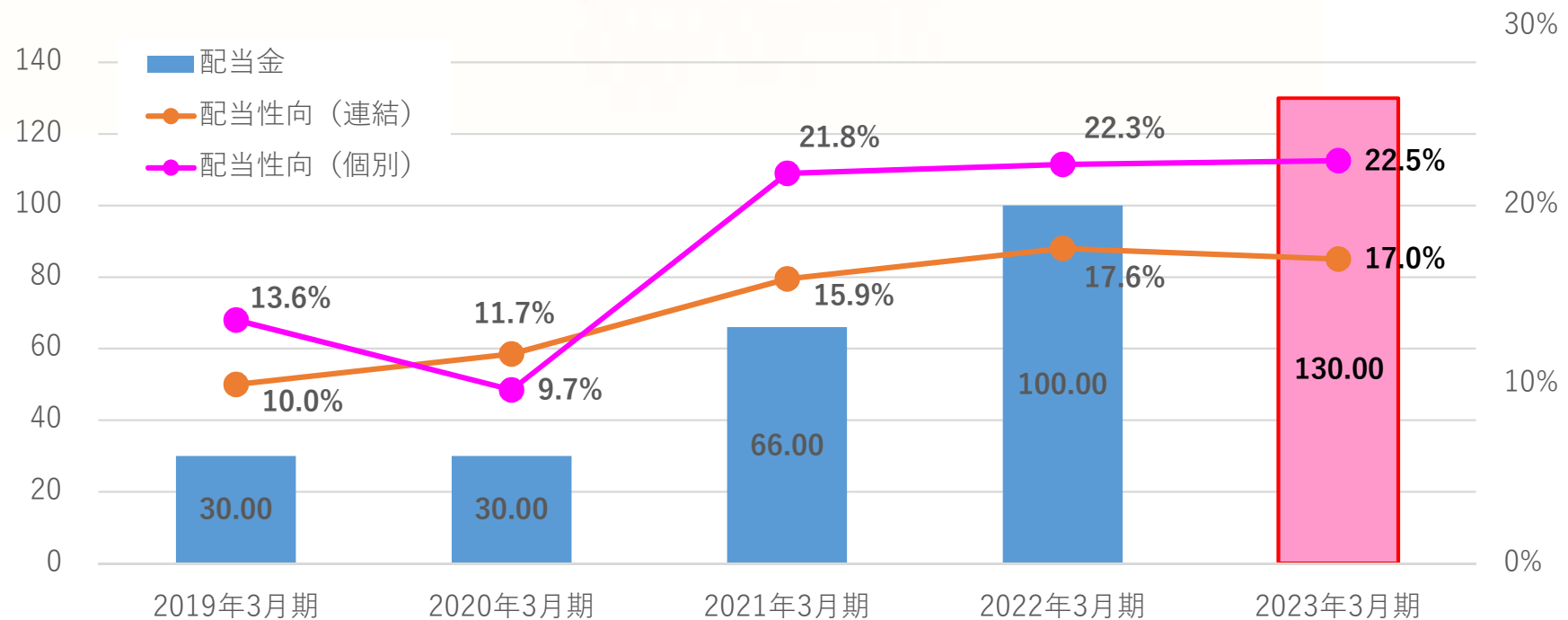


1-(10) 配当金の推移

(単位：円)

	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)	2022年3月期 (第46期)	2023年3月期 (第47期)
1株当たり配当金	30.00	30.00	66.00	100.00	130.00
配当性向 (連結)	10.0%	11.7%	15.9%	17.6%	17.0%
配当性向 (個別)	13.6%	9.7%	21.8%	22.3%	22.5%

(注) 1株当たりの配当額は、2022年10月実施の株式分割後の金額に修正しております。



2. 2024年3月期業績予想

(1) 半導体市場予測 【出所：WSTS2022秋季半導体市場予測】

①世界の地域別半導体市場規模

②世界の地域別半導体市場予測

(2) 2024年3月期 計画（連結）

(3) 製品別売上高 計画（連結）

(4) 海外売上比率の推移と計画（連結）

(5) 今後の取り組み

①市況回復を見据えた準備

②アメリカの対中国輸出規制への対応

(6) 投資計画



▲蔵王南工場

2-(1)半導体市場予測 ①世界の地域別半導体市場規模

(単位：億米ドル)

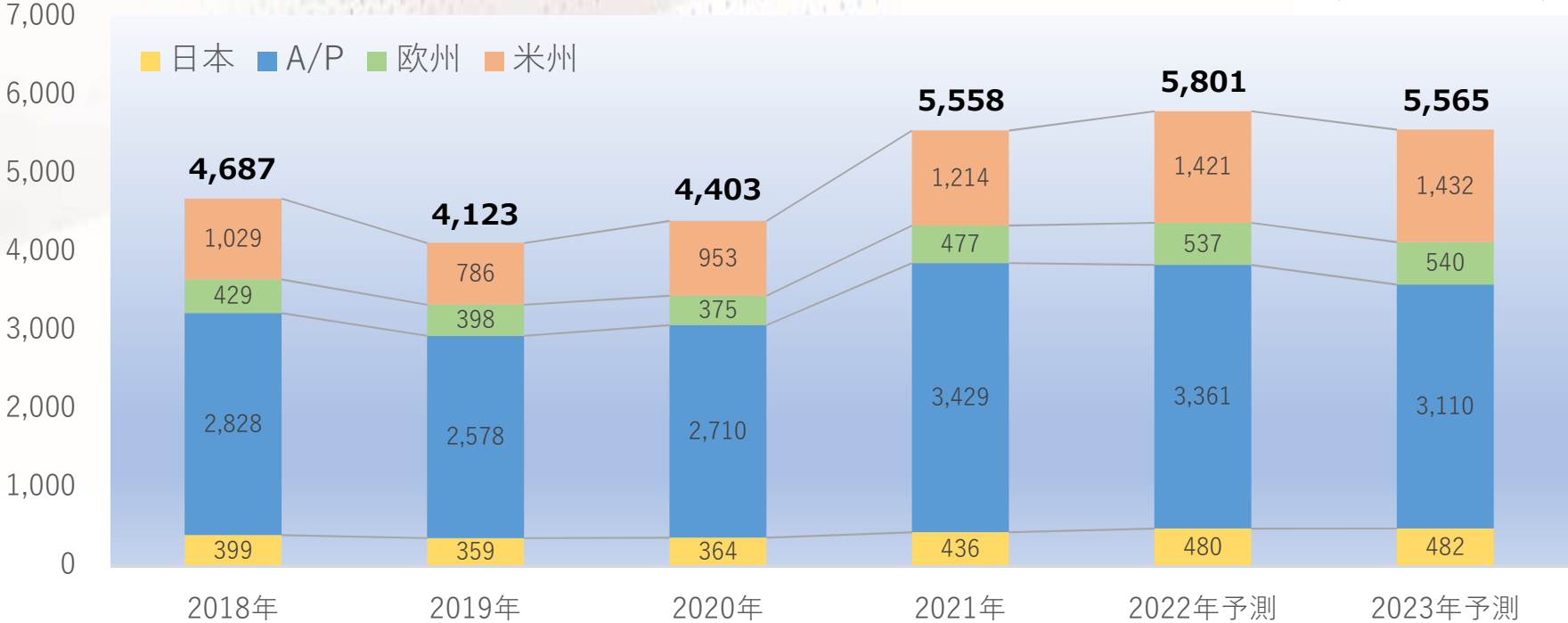
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 予測	2023年 予測
米州	687	655	884	1,029	786	953	1,214	1,421	1,432
欧州	342	327	383	429	398	375	477	537	540
A/P	2,010	2,083	2,488	2,828	2,578	2,710	3,429	3,361	3,110
日本	311	322	365	399	359	364	436	480	482
合計	3,351	3,389	4,122	4,687	4,123	4,403	5,558	5,801	5,565
前年比	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	88.0%	106.8%	126.2%	104.4%	95.9%

※「A/P」とはアジア太平洋の略

資料：WSTS 2022年秋季半導体市場予測

2-(1)半導体市場予測 ②世界の地域別半導体市場予測

(単位：億米ドル)



世界半導体市場について

- ◆ 2021年の半導体市場は前年比26.2%増とコロナ特需で急成長
- ◆ 2022年は年初こそ2021年の勢いを維持していたが、徐々に特需が終わり、世界的なインフレ、ロシアのウクライナ侵攻の長期化などに伴う個人向け電子機器需要の低迷などを背景に、市場成長率は同4.4%増の5,801億2,600万ドルに留まると予測
- ◆ 2023年についても、自動車のエレクトロニクス化や再生エネルギー関連投資などが下支えするものの、前半は2022年後半からの市況悪化の影響が継続することが見込まれることから、通年でも同4.1%減の5,565億6,800万ドルと、2019年以来、4年ぶりのマイナス成長を予測

資料：WSTS 2022年秋季半導体市場予測

2-(2)2024年3月期 計画 (連結)

- 半導体業界は、2023年度前半は、非常に厳しいマーケット環境と予測
- 2023年度後半は、徐々に回復すると見込む
- アメリカの対中国輸出規制について、今後の動向を注視しつつ柔軟に対応
- 2023年度は来るべき需要に備えた基盤作りの年と捉え活動

(単位：百万円)

	第2四半期		通期	
売上高	9,310	△5.6%	19,000	△5.3%
営業利益	1,770	△14.3%	3,660	△10.0%
経常利益	1,770	△24.1%	3,650	△16.2%
純利益	1,240	△19.1%	2,570	△13.1%

※2023年3月期決算短信の公表値

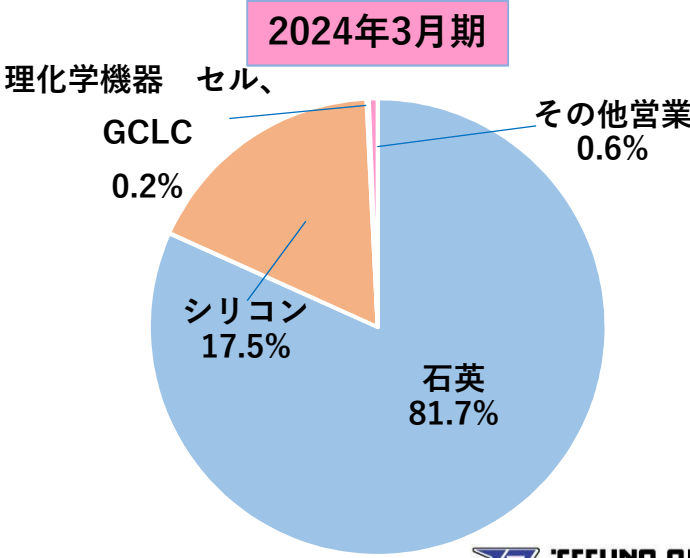
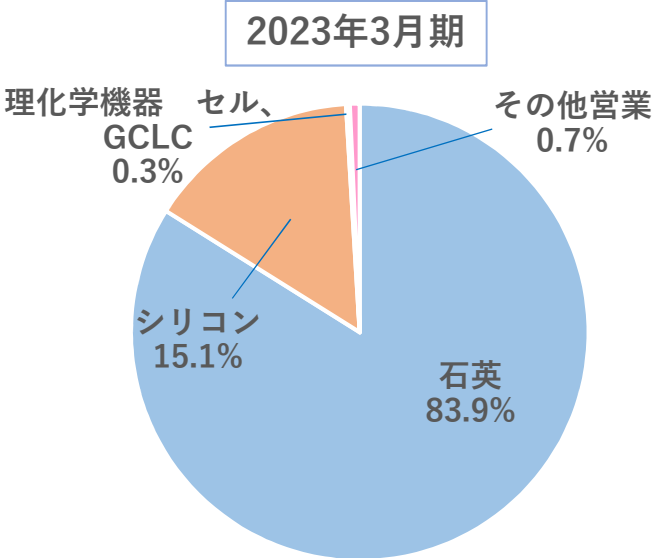
注) %表示 対前期増減率



2-(3)製品別売上高 計画 (連結)

(単位：百万円)

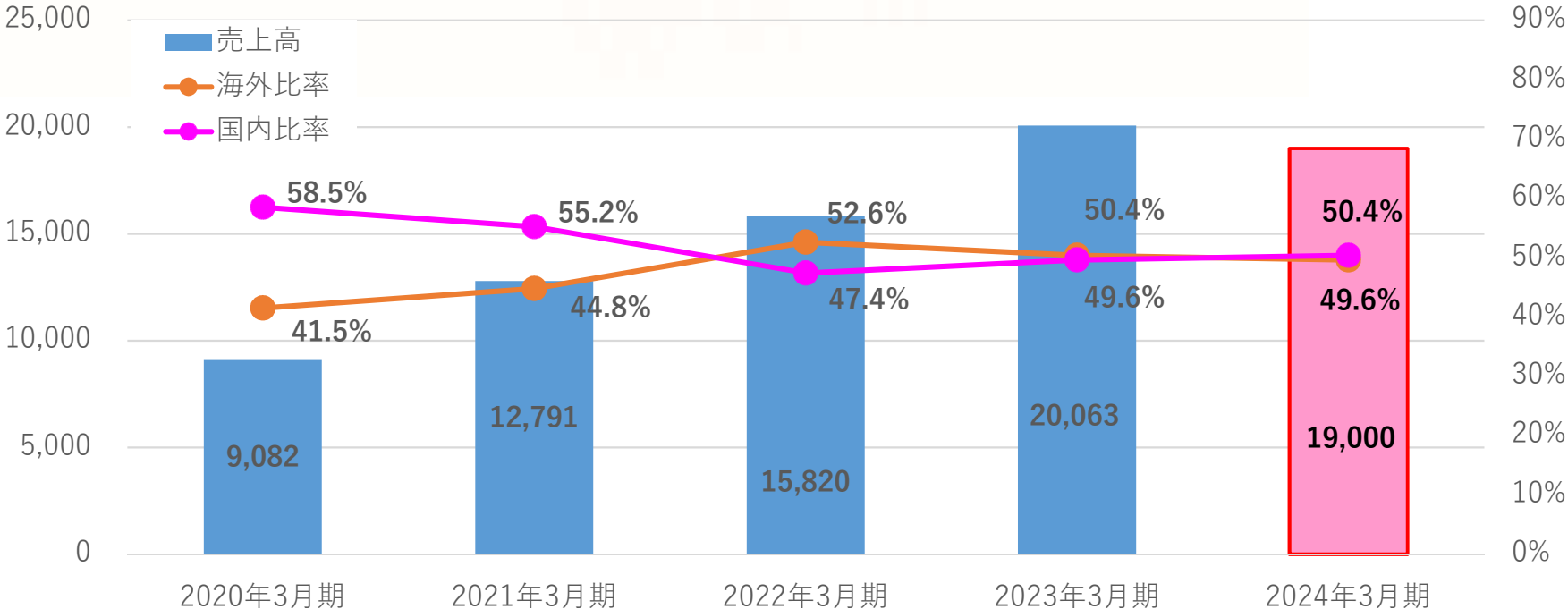
主要製品	2023年3月期 (第47期)			2024年3月期 (第48期)		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	16,833	83.9%	117.8%	15,530	81.7%	92.3%
シリコン	3,038	15.1%	228.9%	3,320	17.5%	109.3%
理化学機器 セル、 GCLC	54	0.3%	91.5%	30	0.2%	55.6%
その他営業	138	0.7%	92.6%	120	0.6%	87.0%
総計	20,063	100.0%	126.8%	19,000	100.0%	94.7%



2-(4) 海外売上比率の推移と計画(連結)

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)		2024年3月期 (第48期)	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%	9,576	50.4%
国外	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%	9,424	49.6%
合計	9,082	100.0%	12,791	100.0%	15,820	100.0%	20,063	100.0%	19,000	100.0%



2-(5)今後の取り組み

①市況回復を見据えた準備

- ✓ 5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加も見込まれることから、今後も半導体不足が想定され、中長期的に半導体需要拡大のトレンドは継続していくものと予想
- ✓ 市況回復を見据えた各メーカーの先行的な投資活動は継続方向にある
- ✓ 世界各地域で半導体に対する政府補助を伴う計画が進められるなど、今後とも半導体市場は底堅い潜在需要を背景に着実な拡大が見込まれる
- ✓ コロナを契機に世界的なリモートワークの広がり、データセンター等におけるメモリー需要の高まりなどプラス要因は持続すると見込む

②アメリカの対中国輸出規制への対応

- ✓ 対中輸出規制の動向を注視した、柔軟な対応
- ✓ 当社中国子会社工場でのアメリカ向け生産分の、日本生産体制の構築
- ✓ 新工場建設プロジェクトの発足準備(蔵王南工場隣接地など)
- ✓ 新たな製造拠点の開発に向けての活動開始
- ✓ 中国国内での販売先の新規開拓活動

2-(6)投資計画

③国内における増産体制構築のための設備投資実行

- ✓ 蔵王南工場隣接地(9,023㎡)の活用
- ✓ アイシンテック隣接の新規土地取得予定(福島県喜多方市 綾金工業団地内)
- ✓ 上記以外に、新たな土地の取得および工場建設の活動

※ 投資総額については、未定



蔵王南工場の隣接地(新工場建設予定地)

アイシンテック 喜多方工場





テクノオーツ株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2

ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<https://www.techno-q.com/>

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。